

平成27年度 行政評価事業別シート

	実計対象 ■	評価対象 ■	新規 □	完了事業 □	ゼロ予算事業 □	担当者	杉山博一
	全体計画			経費区分	実施計画事業費	内線	3335
事務事業名	4110 健康診査事業						
所 属	100600 健康福祉部・健康づくり課						
施 策	01010100 健康づくりの充実						
予算科目	会計	01 一般会計					
	科目	040102 衛生費・保健衛生費・予防費					
	事業	040000 健康診査事業					
事業目的				事業概要・効果			
後期高齢者健診、各種がん検診等を実施し、疾病の早期発見、早期治療に努める。				後期高齢者健診、各種がん検診等を実施し、疾病の早期発見、早期治療に努める。 ・後期高齢者健診：75歳以上の市民に対し、個別・集団で実施。 ・各種がん検診：対象年齢の市民に対し主に集団で実施 ・乳がん超音波検診や肺がんCT検診を導入するなど、精度の高い検診を行うことにより、早期発見、早期治療に繋げることができる。 ・市民が受診しやすいよう、胃検診・大腸がん検診は地域を巡回して実施している。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
後期高齢者健診の実施 各種がん検診の実施	後期高齢者健診の実施 各種がん検診の実施
平成24年度 実績	平成25年度 実績
後期高齢者健診の実施 がん検診：がん発見者数 胃2人、大腸6人、子宮1人、乳房8人、肺4人、前立腺6人	後期高齢者健診の実施 がん検診：がん発見者数 胃3人、大腸11人、子宮1人、乳房3人、肺3人、前立腺9人
平成26年度 実績	平成27年度 予定
後期高齢者健診の実施 がん検診：がん発見者数 胃1人、大腸13人、子宮0人、乳房4人、肺1人、前立腺3人	後期高齢者健診の実施 各種がん検診の実施

指標名	胃がん検診の受診率				
算式	胃がん検診受信者数÷胃がん検診受診対象者×100				単位 %
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標	50	50	50	50
	実績	10.7	9.6	9.1	8.5
指標選定の理由	死亡原因の1位であるがんの早期発見のため検診率の向上を図る必要がある				
最終年度目標の根拠	国の目標値である50%とする				
指標名	大腸がん検診の受診率				
算式	大腸がん検診受信者数÷大腸がん検診受診対象者×100				単位 %
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標	50	50	50	50
	実績	16.8	15.7	15.7	16.1
指標選定の理由	死亡原因の1位であるがんの早期発見のため検診率の向上を図る必要がある				
最終年度目標の根拠	国の目標値である50%とする				
指標名	肺がん検診の受診率				
算式	肺がん検診受信者数÷肺がん検診受診対象者×100				単位 %
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標	50	50	50	50
	実績	8.5	14.6	14	13.6
指標選定の理由	死亡原因の1位であるがんの早期発見のため検診率の向上を図る必要がある				
最終年度目標の根拠	国の目標値である50%とする				

事業費

(単位：千円)

		平成26年度 決 算	平成27年度 予 算
事業費		88,004	99,855
特定財源	国庫支出金	2,208	1,376
	都道府県支出金	4,106	4,818
	地方債	0	0
	その他	4,956	25,167
一般財源		76,734	68,494
人員数(人)	正規職員	0.8	0.8
	嘱託職員	0.3	0.3
	臨時職員	0.5	0.2
人員コスト	正規職員	5,486.4	5,486.4
	嘱託職員	817.5	817.5
	臨時職員	588.5	235.4
	計	6,892.4	6,539.3
市民一人当たりの経費		1.8	2.0
総額		94,896.4	106,394.3

(単位：千円)

平成26年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	980	消耗品費134、食糧費8、印刷製本費838
13節 委託費	76,997	電算委託料4,296、その他委託料72,700
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	6,163	負担金568、補助金5,595
その他	3,864	

(単位：千円)

平成27年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	1,091	消耗品費147、食糧費9、印刷製本費935
13節 委託費	87,258	電算委託料2,693、その他委託料84,544
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	7,177	負担金577、補助金6,600
その他	4,329	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	市民の生命、健康を守るために必要不可欠	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	市民の生命、健康を守るため大変有効	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	効率的に実施している	

振り返り（決算年度の取組み課題）
検診、健診の受診率向上に向けた取り組みが必要

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
受診者拡大が課題。特に、胃がん、大腸がん健診の体制について検討が必要。		受診者拡大する工夫をしながら継続実施。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	